

独立

ひとりだち



2020年
初春号
第33号



新年のごあいさつ

風巻 静佳



明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。新しい年を迎え、いかがお過ごしでしょうか。

この度、当法人は 70 周年を迎え、事業所関係者の皆様をお招きしての記念式典を行いました。あすなろ荘が設立して 32 年という歴史を振り返り、改めて設立した当初の目的や現在の役割を考える時期が来ているのだと考えさせられます。

私自身は 2 年目の職員となりましたが、自立援助ホームの役割について考えながら、日々迷い、戸惑い、頭を抱えています。職員が「これだ！」と“想像”し、“妄想”し、考えぬいた役割と、子ども達が求める役割が大きくズれていかないように。そして、私たちのできる“限界”についても同時に考えなければならないと感じています。

と、格好つけて言っている、実際には、グルグルと様々な感情が渦巻き、正直に「できない」と言えないものです・・・。

昨年も数名の寮生が巣立っていく姿を見送りました。退寮後は、私たちが生活の様子で何となく気付いていた“困り感”

を感じ取ることができません。まだまだ長い人生の寮生達と、細くても長い関わりを続けていきたいなと感じます。

以前、Aさんから「風巻さんのご飯は家庭的」と言われました。そして、Bさんには「最近の人(若者ということ?)が作る料理」と言われ、Cさんには「バイキングみたい」と言われました。寮生にとって、食事の見え方は様々だなあと感じますし、衣食住の「食」は大事なんだなと感じます。実は私、学生時代にはレンジで茹でるスパゲティに市販のソースをかけるのが定番というくらいに料理をしていませんでした。あすなろ荘に来てから少しずつ料理のレパートリーも増え、腕も上がっています。(そのはず!)料理という些細なことかもしれませんが、寮生達から成長させてもらうことがたくさんあります。時にはお互いに意見の対立もあったり、不満が募ることもありますが、心の中は常に温かく、正直で居たいなと思っています。まだまだ未熟者ですが、そんなことを考える一年でした。

皆様に支えていただきながら、2019年も終わることができました。今後とも温かいご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



実習生より

高岡さん



私にとっては 4 回目の、大学最後の実習でしたが、料理や宿直などは初めての経験で、毎回新鮮な学びがありました。振り返ってみると、実習中よりも実習以外の時間で「次は何を作ろう」「どんな質問をしよう」と考える準備の方が大変でした。週に 1 度しか寮生に会えないので、普段の様子が分からず、自分なりに想像していました。私は寮生と年齢の近い立場にありましたが、寮生の言動で「どういう意味だったのだろうか？」と悩む場面があったり、寮生の知識に驚かされることもあったりと、寮生からは本当にたくさんのことを教わりました。また、寮生の状況について考えた時に、ふと自分を見つめ直すと、アルバイトや学校選びで私も失敗をしたなあと思い出が蘇りました。

寮生たちは子どもから大人になる段階にあり、就業や進学の進路選択を迫られ、将来に期待や不安の気持ちを抱きながらあすなろ荘で生活を送っているのだと思います。自分らしい人生をつかっていくために自立の準備をする場所が、自立援助ホームというところなのだとは私は認識しました。退所後も信頼できる大人に支えられながら自分の人生を歩んでほしいなあと思っています。

最後に、7月から10月までの20日間にわたる実習を受け入れ、関わってくださった皆様に心より感謝申し上げます。未熟な点が多く、反省だらけの実習でしたが、今後に活かして参ります。本当にありがとうございました。



—あすなろ荘での生活はどうか？

Z：深いですね…。ちょっと待って。(しばらく考えて) 良いものだと。やっぱりねえ、おはよう、おかえりって言うてくれる人が居るのが良いよね。当たり前のことがあるのがすごいよね。一人暮らしする不安もあったから、身近に相談する人が居るのは良い。生活の場で悩みとか打ち明けられるし、そういった部分では良いと思います。

—学校生活は？

Z：さっきの質問の答えと被るところがあるんだけど。一人暮らしだと、朝起きれるか、ご飯とか大変になってくると思うんだけど。ここに居て助かってるし、順調に出来てますね。すごい楽しくて、バイトも勉強も両立出来て。ちゃんと将来に向けて。学業も優秀ですし。友達とも遊んでるし。

—学校生活は想像通り？

Z：学校での勉強は、思ったよりも専門的で、専門学校だから学びたいことを沢山学べる。児童養護施設の皆に進学が広がってほしい。これから奨学金の金額も上がるし。学費を負担してくれる制度もあるし、進学したいって考えている子どもは自立援助ホームから進学しても良いと思う。一人暮らしだったら、そんな上手くいかないからね。

—保育の専門学校に通っている。

Z：学校に入学するまでは、先生はただ子どもが好きで、遊んであげる人って思った。でも、細かいこと、その日何をするのか、企画を考えてから行動してる。先生ってよく考えて子どもと接してるんだなって思いますね。

—保育の学校に進学したいと思ったきっかけは？

Z：中3。何故かって？進学する時に沢山の人の世話になった。書類、生活…。これからもいろいろお世話になると思う。ボクも誰かの夢をサポートしてあげられる人になりたいと思った。人の成長に関わりたい。それが一番だね。

—これから実習が始まります。

Z：正直言って不安。不安が8、楽しみが2。初めてっていうのもある。何が出来るかとかもあるし。保育園、幼稚園の仕事って、子どもが好きって言うだけじゃ出来ない。知識を持った上で、ようやく出来る仕事。そこらへんは不安に思ってる。予想外のことも起こるし。子どもと上手く馴染めるか、とか。楽しみなのは自分がかかなり子どもが好きだから、多くの子どもと関わって、足りない経験を培ったり、先生の動きを見て、どのような対応をするか学べれば良いなと思います。

—将来就きたい仕事について。

Z：はっきりとは決まってないんですけど。やりたいことっていうか…。これまでの経験の中で言うと、子どもが好きってこと。体育の先生、施設職員、幼稚園、保育園で働くのもありって思ってる。選択の幅がある方が良いと思ってる。

— 具体的な目標は？

Z：自分は自分だし。良い人沢山居るから。いろんなものを吸収して、もっと良い保育士になりたい。

— 現在就労しているジムの仕事のやりがい、楽しいところ。

Z：人の成長に関われる仕事だと思う。ジムでいろいろな人と関われるのが楽しい。合わない人だっているけど。悪意、敵意とは関わらないのが一番。

— 学業と仕事の両立について。

Z：しっかりと出来てますね。学業と仕事の両立かなりやってるから。でも自由な時間が少ない。何もしなくていい日も作った方が良く。疲れちゃうよね。

— 趣味、特技は？

Z：胸筋を動かすこと。リンゴを握り潰せること。このことを履歴書の特技欄に書いたら、職場の人達にあっという間に広まった。胸筋動かせるんだって、リンゴ潰せるんだねって言われる。趣味は筋トレ。栄養学にも興味がある。

— 将来について、仕事以外に何か展望は？

Z：今の社会に疑問を持っています。今って経済ばかりに力を入れてると思う。皆に働け、働けって。幸福度が低いからもっと上げた方が良く。福祉に力を入れるべき。保育士の待遇改善とか。保育士を増やそうとしても人手不足。保育士資格を持っていて、またやりたいと思ってる人も沢山居ると思う。若い力を幼い時から育てていきたい。子どもが大人になった時に幸福度が高い国になってるように。そういう国にボクがする…って半分冗談だけど。そういうのに関われたら良いなって思ってる。

今は全く力が無いけど。ノルウェーだっけ？日本も北欧を見習ったら良いのに。教育費無料なんだよね。

—最後に何か言いたいことがあれば。

Z：やらない後悔より、やって後悔した方が良くてこと。施設出身者は進学するにあたって不利な立場。でもそんなことはない。進学する制度、奨学金もある。周りには相談に乗ってくれて、力になってくれる人も居る。幸福なんじゃないかと思う。進学したいなら始めから諦めないで、周りの人に相談してみても良いんじゃないかと思いますね。

Z君があすなる荘での生活を始めて半年以上が経ちます。

保育専門学校進学とジムのアルバイトを両立した生活を送っ

ています。仕事は趣味の筋トレを兼ねているとはいえ、学校

の長期休暇以外は、月数日しか完全休養日がありません。

彼のインタビューを聞きながら、彼の思いにどれだけ応えら

れているか、と自分に問い掛けずにはいられませんでした。



あすなる荘の日常



突如、食器棚に現れた
筋肉マグカップ！
あすなる荘の食卓では、
ダイエットやトレーニングの
アドバイスが話題になること
が増えました。



デンマーク牧場様との
嬉しい・美味しい交流が！
関東へ遊びに来た寮生と一緒
に美味しい牛乳とヨーグルト
が届きました♪





A さん (19 歳)

青果のアルバイトを続けながら 4 月からの専門学校進学をめざす A さん。面接や提出書類の準備など忙しい日々を送っています。忙しい日々の中でも豆から挽いて淹れるコーヒーでゆったりコーヒータイム。豆の香りに職員も癒されています。



B 君 (19 歳)

専門学校に通いながらアルバイトもしっかりこなす B 君。最近転職をしました。小学生や中学生に囲まれて楽しく働いている様子です。働きづめの B 君。少しお休みが増やせると良いなと体調が心配な職員です。

Cさん(17歳)



10月に入居したCさん。アルバイトも一発合格。すぐに仕事をはじめました。今日は行きたくないなと言いながらも毎日出かけていく姿に頭が下がります。とても幸せそうにお菓子やおかずを食べてくれるCさん。その表情を見ているとこちらも幸せな気持ちになります。



Dさん(18歳)

11月に入居したDさん。すぐにアルバイトを決め働き始めました。近くを通りかかった際にCさんと一緒に職場を覗くと、きりっとした衛星帽子姿で接客しているCさんの姿が…始めたばかりとは思えない手慣れた様子に感動してしまいました。



E君(17歳)

最近入居したE君。通信制高校での勉強をしつつ、電話のかけ方や履歴書の書き方など一つ一つ丁寧に確認しながら仕事探しに奮闘しています。仮面ライダー好きのE君。同じく仮面ライダー好きのホーム長と盛り上がっています。

ご支援ありがとうございます(2019.4.1~9.30)

個人情報のため
省略させていただきます



発行

自立援助ホームあすなろ荘

(清瀬市松山 3-12-14)

発行責任者：福本啓介

編集：風巻静佳

イラスト：実習生の高岡さん

Facebook



ホームページ

